

今月も前回に引き続き、李清照の詞〔点絳唇〕を学びました。これも〔如夢令〕と同様「詞牌」の一つで、歌詞の内容を表わす題名はついていません。前回ご紹介した作品は4コマ漫画の様に日常を描写した、ちょっとコミカルな〈詞〉でしたが、今回の作品ではうって変わって夫の居ない閨の寂しさを嘆く演歌の様な内容で、李清照の真骨頂とも言える作品だそうです。

宋朝末期に生まれた当代きっての才媛であった李清照は、夫趙明誠と、当時としては珍しい相思相愛の仲でした。しかし、宋朝滅亡という時代の波に飲み込まれ、夫と離れ離れになってしまったようです。ひたすら夫の帰りを待ちわびる女性の気持ちが伝わります。

〔点絳唇〕という曲のタイトルからして、女性特有の鬱悶気を醸し出しています。点絳唇とは女性が口紅をさすという意味です。

深閨とは寂しい女性の部屋を指しています。この詩は類別すれば〈閨怨詩〉、男に捨てられた女性

の怨み節という一つのジャンルでもあります。柔腸とありますが、腸は心を表します。心根の優しいことを中国語では「好心腸」と言います。縷とは細い糸のことで、「千縷」は想いが千々に乱れること、です。「惜春春去」の「春を惜しむ」心情は漢詩のテーマの一つで孟浩然の「春暁」もその一つですね。また春とは若い女性のイメージでもあり、ここでは晩春の情景に、終わりかけた自分の青春を重ねています。「欄干に寄る」という言葉は、漢詩の世界で、男性なら故郷を想う、女性なら別れた夫や帰らぬ男性を待つ、という固定化したイメージを持ちます。

「天に連なる春草」の「春草」とは、屈原の死を悼んだ『楚辞』招隠子からの引用で、果てしない旅のイメージを持ちます。「望断」とは地の果てまで眺める、という意味で、「あの人が見えてくる道」を見つめ続ける女性の張り裂けんばかりの気持ちが最後の一句に込められているようです。

春の雨、消息の分からない夫、がらんとした部屋、

花が落ち、緑の草が広がり季節が変わるなかで、取り残されたような想い、自分の居場所を失ったような感覚…。このような思いは古今東西のありとあらゆる女性達が人生の中で一度ならず味わった共通の想いであるだけに、胸に迫りくるものがありますね。

さて、なぜ春を青春と言ひ、また女性のイメージを持つのでしょうか。これには中国古来からの陰陽五行思想が関連しています。「この考えは共通イメージとなっていて漢詩を作ったり味わったりするためにも覚えておくといいですよ」と植田先生が説明してくださいました。ホワイトボ

rú mèng lìng
点絳唇

lǐ qīng zhào
李清照

jì mò shēng wāi
寂寞深閨，
róu cháng yī cùn chóu qiān lǚ
柔腸一寸愁千縷。
xī chūn chūn qù
惜春春去，
jǐ diǎn cuī huā yǔ
几点催花雨。

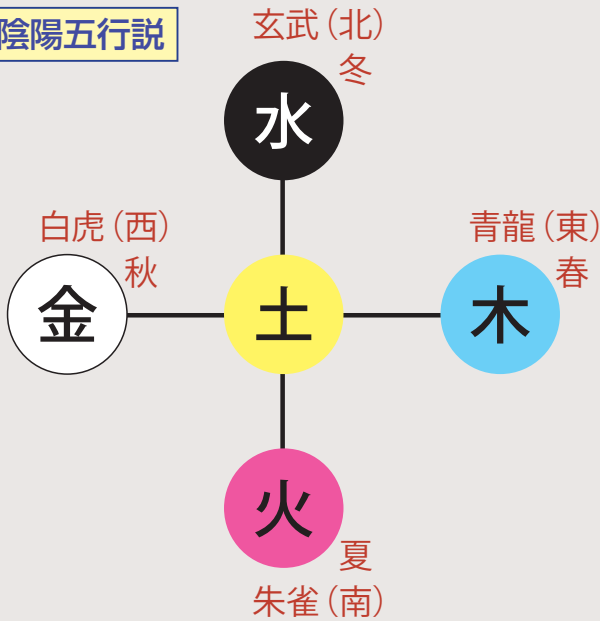
yī biàn lán ān
倚遍闌干，
zhǐ shì wú qíng xù
只是无情緒。
rén hé chù
人何处，
lián tiān fāng cǎo
连天芳草，
wàng duàn guī lái lù
望断归来路。

てん こう しん
点絳唇

李 清 照

わび ねや
侘しき閨に傷心の
思いや千々に乱れける
春を惜しめど春去り逝きて
らっ かつなが した
落花促す雨ぞ滴る
欄干に寄り尽くす日々
ただ味気なく
彼の人は今や何処に
天に連なる春草の
当てなき帰路を望み見る

陰陽五行説



一ドに図を描いてくださり、以下のように説明していただきました。

春は青、木、東、青龍、女

夏は赤、火、南、朱雀

秋は白、金、西、白虎、男

冬は黒、水、北、玄武

これに長夏(土用)、土、中央、黄龍が加わり五行となる。

青春という言葉はここからきていますが、春は女性、秋は男性という対比から、漢詩の世界では春は女性のもの、というイメージだそうです。このイメージは唐代中期ごろから詩に取り入れられるようになり、宋代には流行の頂点に達します。昔は40代になると老人でしたから、春は本当に短い、という想いから「惜春」という言葉が生まれたのでしょう。

しかし、現代に生きる私たちからすれば「40代で老人?」とはあまりピンときませんね。医療や科学技術の進歩で、今後は人生100年時代が来るといわれていますが、アラフォーの私もみずみずしい「青年」の心を持ちつつ、年を重ねていきたいな、と常々思っています。サムエル・ウルマンの名詩「青春の詩」のように……。

思えば、この漢詩クラスで、いつも目を輝かせて生き生きと楽しい漢詩の世界をお話くださって

いる植田先生はじめ、大活躍の〈わんりい〉のメンバーの皆さんは「青春」の見本そのものですね。生きる姿勢が問われる時代のお手本に恵まれていることを改めて有難く思いました

さて、今回この「詞」の後に李清照の残した大変珍しい漢詩もご紹介下さいました。それがまた非常に男性的でびっくりしました。李清照が男勝りの豪傑であり、非常に幅のある才能を持っていたことを実感できる作品です。項羽が劉邦との戦いに敗れた時、川の渡し場で船頭が故郷に逃げるようにと申し出たのを断り、戦場の花と散った項羽の最期の想いに自分の思いを重ね、「いっそあの時死んでいればよかった」という激しい想いを、五言絶句の形で書き残しています。

xià rì jué jù 夏日絶句

lǐ qīng zhào
李清照

shēng dāng zuò rén jié
生当作人杰

sǐ yì wéi guǐ xióng
死亦为鬼雄

zhì jīn sī xiàng yǔ
至今思项羽

bù kěn guò jiāng dōng
不肯过江东

shēng zhuō shì dāng rén jié zuò rén
生きては當に人傑と作り

sǐ shí shì yì wéi guǐ xióng zuò rén
死しては亦た鬼雄と為るべし

zhì jīn sī xiàng yǔ
今に至りて項羽の

bù kěn guò jiāng dōng
肯て江東を過らざるを思う

宋词と言えは李清照、というほどに後世に名を残した女流詩人の人生を想うとき、愛と芸術という軸をしかと持ち、乱世を生き抜いた類まれなる意志の強さを感じずにはられません。日本もこれから、自分の軸を持って生きないと激流に流される時代がやってきますね。

この二首に出会えたのだから、李清照を見習い、しかと生きていこうと、思いを新たにした春です。

以下、蛇足ながら。



青春

サムエル・ウルマン 宇野収、作山宗久訳

青春とは人生のある期間ではなく
心の持ち方をいう。

バラの面差し、くれないの唇、しなやかな手足で

はなく
たくましい意志、ゆたかな想像力、もえる情熱を
さす。
青春とは人生の深い泉の清新さをいう。

青春とは臆病さを退ける勇氣
やすきにつく気持ちを振り捨てる冒険心を意味
する。
ときには、20歳の青年よりも60歳の人に青
春がある。
年を重ねただけで人は老いない。
理想を失うとき はじめて老いる。
歳月は皮膚にしわを増すが、熱情を失えば心は
しぼむ。
苦悩、恐怖、失望により気力は地にはい精神は芥^{あくた}
になる。

60歳であろうと16歳であろうと人の胸には
驚異にひかれる心、おさな児のような未知への
探求心
人生への興味の歓喜がある。
君にも我にも見えざる駆遣が心にある。
人から神から美、希望、よろこび、勇氣、力の
靈感を受ける限り君は若い。
靈感が絶え、精神が皮肉の雪におおわれ
悲嘆の氷にとざされるとき
20歳だろうと人は老いる。
頭を高く上げ希望の波をとらえるかぎり
80歳であろうと人は青春の中にいる。



Original 版

Youth YOUTHの原詩です。

Samuel Ullman

Youth is not a time of life, it is a state of mind.
It is not a matter of rosy cheeks, red lips and
supple knees,
it is a matter of the will, a quality of the
imagination, a vigor of the emotions,

it is the freshness of the deep springs of life.
Youth means a temperamental predominance
of courage over timidity of the appetite, for
adventure over the love of ease.
This often exists in man of sixty more than a boy
of twenty.
Nobody grows old merely by a number of years .
We grow old by deserting our ideals.
Years may wrinkle the skin, but to give up
enthusiasm wrinkles soul.
Worry, fear, self-distrust bows the heart and
turns the spirit back to dust.
Whether sixty or sixteen, there is in every being's
heart the lure of wonder, the unfailing child-
like appetite of what's next, and the joy of the
game of living. In the center of your heart and
my heart there is wireless station, so long as it
receives message of beauty, courage and power
from men and from the Infinite, so long are you
young.
When the aerials are down, and your spirit is
covered with snows of cynicism and the ice of
pessimism, then you are grown old, even at
twenty, but as long as your aerials are up, to
catch the waves of optimism, there is hope you
may die young at eighty.



青 春

原詩とは異なりますが、“How to Stay
Young” という題で1945年12月号の『リー
ダーズ・ダイジェスト』に掲載されたとされて
いる詩です。

サムエル・ウルマン 岡田義夫訳

青春とは人生の或る期間を言うのではなく心の
様相を言うのだ。
優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を
却ける勇猛心、
安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春

と言うのだ。

年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる。

歳月は皮膚のしわを増すが、情熱を失う時に精神はしぼむ。

苦悶や、狐疑や、不安、恐怖、失望、こう言うものこそ恰も長年

月の如く人を老いさせ、精気ある魂をも芥に帰せしめてしまう。

年は七十であろうと、十六であろうと、その胸中に抱き得るものは何か。

曰く驚異への愛慕心、空にきらめく星辰、その輝きにも似たる

事物や思想に対する欽仰、事に処する剛毅な挑戦、小児の如く

求めて止まぬ探求心、人生への歓喜と興味。

人は信念と共に若く 疑惑と共に老ゆる。

人は自信と共に若く 失望と共に老ゆる。

希望ある限り若く 失望と共に老い朽ちる。

大地より、神より、人より、美と喜び、勇気と壮大、そして

偉力の靈感を受ける限り人の若さは失われない。

これらの靈感が絶え、悲嘆の白雪が人の心の奥までも蔽いつくし、

皮肉の厚氷がこれを固くとざすに至れば、この時にこそ

人は全くに老いて神の憐れみを乞うる他はなくなる。



Youth The Reader's Digest 版

Youth is not a time of life, it is a state of mind;
it is a temper of the will, a quality of the imagination,
a vigor of the emotions, a predominance of courage over
timidity, of the appetite for adventure over love

of ease.

Nobody grows old by merely living a number of years;

people grow old only by deserting their ideals.

Years wrinkle the skin, but to give up enthusiasm wrinkles the soul.

Worry, doubt, self-distrust, fear and despair—these are the long,

long years that bow the head and turn the growing spirit back to dust.

Whether seventy or sixteen, there is in every being's

heart the love of wonder, the sweet amazement at the

stars and the starlike things and thoughts, the undaunted

challenge of events, the unfailing childlike appetite for

what next, and the joy and the game of life.

You are as young as your faith, as old as your doubt; as

young as your self-confidence, as old as your fear, as

young as your hope, as old as your despair.

So long as your heart receives messages of beauty, cheer,

courage, grandeur and power from the earth, from man and

from the infinite, so long you are young.

When the wires are all down and all the central place

of your heart is covered with the snows of pessimism and

the ice of cynicism, then you are grown old indeed and

may God have mercy on your soul.